

戦争について考えた六月

古聖小学校 四年一組 島袋愛子

私たちは、南風原町文化センターの上地さん  
という方から話を聞いて、平和学習を行な  
いました。私は、上地さんから話を聞いて、  
戦争がどれだけ怖かったのかが分かりま  
した。戦争では、米軍からばくだんやミサイ  
ルが発射させられ、たくさんの方が亡く  
なりました。上地さんから話を聞いた後に、  
実際に米軍が使っていたばくだんのような物

を持ってみました。私は、こんな重たいと言  
う事が、はじめて分かりました。  
次に、たんにんの先生から、つしま丸の話  
を聞いて、ゆう子先生のお母さんが乗ってい  
た船は、つしま丸のとなりの船で、その船は  
九州まで行けたけど、つしま丸は、九州に行  
くとちゅうで、米軍にこうげきされ、船がし  
ずんで、九州まで行けなかつたので、もし、  
ゆう子先生のお母さんが、つしま丸に乗って  
いたら、ゆう子先生や私たちは生まれな

い事が分かった時、私は、おばあちゃんが今  
いてくれて、とても幸な人だと思いました。

私は、一つの花や戦争の事が書かれている  
絵本を読んで、自分がもし、戦争時代に生ま  
れていたら、おばあちゃんみたいには、戦争か  
ら生きのびることが出きないと思います。な  
ぜなら、私だったら、こわくて、こわくて、  
戦争にたえきれないと思います。一つの花  
では、お父さんの気持ちや、ゆみ子の気持  
ちを一生けん命考えました。でも、もともと

とこれからも考えて行きたいと思いました。  
私はこの六月で、平和について、いろんな  
ことを学習しました。例えば、南風原町文化  
センターの上地さんから話を聞いて平和学習  
をしたり、先生からつま丸の話を聞いたり、  
一つの花と言う絵本を読んで、戦争について  
考えたりしました。私は、もう二度と、人が  
人でなくなる戦争をしたくないです。なぜな  
ら、たくさんさんの命がなくなる戦争は、して  
なにもいいことはないからです。私は、一人

No. 6

No. 5

一人がながよくすることから戦争を起こさな  
いようにしたいです。